

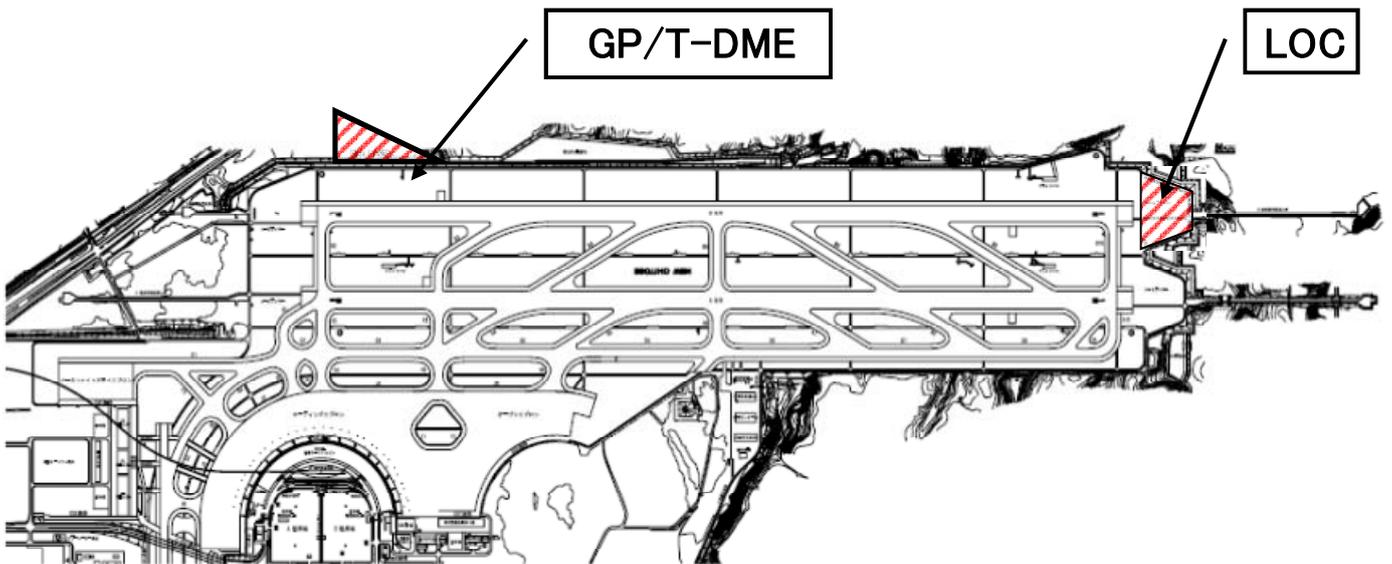
事業名 (箇所名)	新千歳空港19(L)ILS双方向化事業		担当課 担当課長名	航空局交通管制部交通管制企画課 (西村 典明)	事業 主体	北海道開発局 東京航空局					
実施箇所	北海道千歳市										
該当基準	事業採択後5年間が経過した時点で継続中の事業										
主な事業の諸元	新千歳空港B滑走路においてILSの双方向化を行う										
事業期間	事業採択	平成20年度	完了	平成27年度(想定)							
総事業費(億円)	20		残事業費(億円)		14						
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景> 新千歳空港においては、維持工事や冬期の除雪作業等のためA滑走路が使用できない時は、B滑走路19Lを使用することとなり、VOR/DMEを使用した非精密進入方式となるため、視界不良時には航空機の欠航や遅延が発生している。 また、南風卓越時の視程不良時は、VOR/DMEを使用した非精密進入方式ではB滑走路19Lへ着陸ができず、精密進入方式によるA滑走路19Rへの着陸となるため、A滑走路にて出発、着陸を行うことから大幅な遅延が生じている。 これらの、欠航、遅延便を解消するために、B滑走路19LのILS整備を行う必要がある。</p> <p><達成すべき目標> 国内線の自空港気象(台風除く)による欠航率の改善</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化 ・施策目標:航空交通ネットワークを強化する</p>										
便益の主な根拠	便益の内訳 ①到着予定便のダイバート回避による便益: 0.9億円 ②到着予定便の欠航回避による便益: 0.5億円 ③出発便の欠航回避による便益: 0.3億円 ④遅延便の遅延回避による便益: 27.6億円 ⑤環境便益: 0.2億円 ⑥残存価値: 4.6億円 主な根拠 直近過去3年間の欠航状況等										
事業全体の投資効率性	基準年度		平成24年度								
	B:総便益(億円)	34	C:総費用(億円)	24	全体B/C	1.4	B-C	9.4	EIRR(%)	7.2	
残事業の投資効率性	B:総便益(億円)	34	C:総費用(億円)	19	継続B/C	1.8					
感度分析	需 要 (-10% ~ +10%)		事業全体のB/C		残事業のB/C						
	建設費 (+10% ~ -10%)		1.381 ~ 1.387		1.816 ~ 1.825						
			1.372 ~ 1.396		1.801 ~ 1.841						
事業の効果等	・就航率の向上 ILS双方向化を図ることにより、欠航や遅延の減少が見込まれる。 ・安全性の向上 悪天候時の着陸に係る事故発生率が低下し、人命、機材の損失が回避される。また、乗員の精神的負荷や実際のワークロードが軽減する。 ・需要増加 就航率が向上することにより、欠航に対する不安が低下することから、航空機を利用する旅客の増加が期待できる。										
社会経済情勢等の変化	平成23年度航空関係予算の基本方針を踏まえ、本事業を休止しているが、国内第3位の乗降旅客が利用する新千歳空港は、旺盛な国際線需要やLCC就航を背景に混雑が深刻な状況となっており、IATA(国際航空輸送協会)から、平成24年7月に航空会社の需要や空港の処理能力によって派生する空港の混雑に伴い、発着調整が必要な空港(レベル2)に位置づけられた。										
主な事業の進捗状況	事業進捗率 約30%、用地取得率 100%										
主な事業の進捗の見込み	用地取得については既に完了しており本事業を継続するにあたり問題となりうるものはない。事業再開後2ヶ年(想定)で施設整備が完了する見込み。										
コスト縮減や代替案立案等の可能性	残事業の本格的な施設整備等にあたっては、直近の調達価格の採用、ILS用地造成の盛土材に購入土砂を使用する従来工法から、空港内で発生する土砂の土工バランスを考慮することにより、発生材を盛土材に使用して、工事のコスト改善を図るなど、今後もコスト縮減に取り組む。なお、現時点において、欠航・遅延を改善する方策としては19(L)ILS整備が最も有効である。										
対応方針	継続										
対応方針理由	本事業は休止しているが、全体事業及び残事業ともに投資効果が確認されたこと。また、本事業の早期実現が望まれていることから、本事業を継続する。										
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 基本的に「事業継続」で問題ないとする。										



新千歳空港



位置図



配置図